
2013 年度 第 3 回 音環境運営委員会 議事録

記録：安田

- A. 日時 2013 年 11 月 28 日（木）17 時 00 分～19 時 00 分
- B. 場所 建築学会会議室
- C. 出席者 岡野利行（主査）、稲留康一、井上勝夫、岩本 毅、古賀貴士、坂本慎一、佐久間哲哉、杉江 聡、田端 淳、中澤真司、永松英夫、濱田幸雄、平松友孝、平光厚雄、宮島 徹（幹事）、安田洋介（幹事）

欠席者 穴井 謙、佐藤 洋、佐藤史明（敬称略）

D. 提出資料

2013 年度第 2 回音環境運営委員会議事次第

- No. 3-0 2013 年度第 2 回音環境運営委員会議事録（案）
- No. 3-1 2013 年度第 3 回環境工学本委員会議題
- No. 3-2 日本建築学会大賞候補功績理由書
- No. 3-3 建築基準法に基づく技術基準の見直し等に関する提案募集について
- No. 3-4 2014 年度委員会活動計画案
- No. 3-5 「AIJES 集合住宅の遮音性能規準（案）」に関する意見書
- No. 3-6 集合住宅の音環境 AIJES に関する要望書

E. 議事記録

1. 前回議事録の確認（資料 No. 3-0）

- ・以下を修正し承認された。
 - ・ P1, 2. 2(1) 「少なくとも 4 年間継続して推薦する必要があるので、音環境として戦略的に推薦」 ⇒ 「音環境として数年間継続して戦略的に推薦」
 - ・ P2, 2 行目 新谷 ⇒ 荒谷

2. 環境工学本委員会の報告（資料 No. 3-1）

2.1 報告事項

(1) 2014 年度大会について

- ・ 9/12-14 の予定。確定かどうかは未確認。
- ・ 研究協議会：高橋先生より、来年度に向けた作業が進行中との報告。
- ・ 研究懇談会：奨励賞の受賞者に講演いただく。2009～2011 年の 9 名が候補。
- ・ OS：「音環境に関する基準・指針の体系と今後」についての文案の紹介。文案中の「2014 年に」を削除。
- ・ 細分類・細々分類：変更なし。

(2) 東日本大震災対応関連報告

- ・ 下記 4 件の作業（WG）が進捗中である。
 - ・ 震災対応住宅・建築環境 WG・震災対応都市環境 WG：内容を HP で公開中。
 - ・ 東日本大震災合同報告書・環境工学 WG：2014 年 3 月終了予定であり、作業はほぼ終了している。約 360p。

DVD版の他に概要版(約50p)を作成中。

- ・「巨大災害の軽減と回復力の強いまちづくり」特別調査研究委員会：2014年3月終了予定。3/11に学会全体のシンポを開催し、成果報告を行う。2/3に福島の住宅の放射能汚染に関するシンポを開催する。吉野会長も関与している。参加をお願いしたい。
- ・震災対応環境工学WG：作業継続中。
- ・シンポ「大震災から2年9か月—環境工学はどう変わったか」を12/3に開催予定。11/60名残席あり。参加をお願いしたい。

(3) 環境工学連合講演会

- ・5月に開催予定。担当学会はAIJ。講師に佐土原先生、特別講義に吉野会長など、錚々たる面々が講演される。会場が大きいこともあり、ぜひ参加をお願いしたい。

(4) 小委員会活動計画報告書の提出依頼

- ・小委主査には、成果報告の書式(HPよりダウンロード可)に従い記入をお願いする。
- ・2/15(土)までに事務局あてに電子ファイルで提出する必要がある。運営委ごとにまとめるため、**2/7(金)までにサーバーにアップ**をお願いする。
- ・HPにて公開される。その点にも配慮いただきたい。

(5) 業績候補の推薦

- ・大賞候補
 - ・音環境運営委からは安岡正人先生を推薦した。環境振動運営委・電磁環境運営委との共同推薦である。
 - ・他に村上先生、中原先生が推薦された。
 - ・会長経験者が受賞確率が高い点を勘案し、環境工学委員会として村上先生を推薦することとした。
 - ・なお、**理由書と功績概要は削除**するようお願いする。
- ・文化賞候補：推薦なし。

(6) 各賞選考委員の推薦

- ・学会賞論文部会選考委員の候補推薦依頼：井上容子先生(光環境)を推薦する。
- ・奨励賞選考委員の候補推薦依頼：退任委員の倉渕先生(空気)、佐藤先生(熱)の後任を、それぞれの分野で検討いただくことになった。

(7) 2014年度予算配分

- ・環境工学全体では22万円の増額。来週の学術推進委にて承認予定。配分基礎データが示された。
- ・各運営委の実績集計が示された。音環境運営委は2000円の減額。建築設備運営委は増額。来週の学術推進委で若干の変更がありうる。

(8) 小委・WG廃止・設置申請

- ・廃止：音環境規準検討小委、集合住宅遮音性能規準刊行小委、集合住宅遮音性能指針刊行小委。
- ・設置：集合住宅騒音防止住まい方マニュアル刊行小委。

(9) その他

- ・環境工学委員会組織図(案)が示された。お気づきの点をご連絡いただきたい。
- ・音響数値解析のハンズオンセミナーの実施報告：参加者は予定通り20名。53,000円程度の黒字。
- ・小委予算配分：活動計画の予算計上額ではオーバー。**主査・幹事で案を作成**するのでご意見をいただきたい。
- ・AIJES：2件報告。承認された(温熱心理生理測定法関連、及びホルムアルデヒドによる汚染関連)。

- ・集合住宅騒音防止住まい方マニュアル企画刊行小委の刊行企画書が承認された。

3. 審議事項

(1) 建築基準法に基づく技術基準の見直しに関する提案募集について（資料 No. 3-3）

- ・他団体も募集を受けている。（一社）建築行政情報センターのコンタクトポイントから、個人名でも意見を発信可能。
- ・環境工学本委員会に5件の提案があり、承認された。
- ・それ以外があれば、12/5 ごろまでであれば環境工学本委員会幹事団で判断する。
- ・他分野では、仕様に関する具体的なものが多い。
- ・長屋・共同住宅の界壁の遮音性能について
 - ・現状は、125、500、2kHz の3つの周波数でのみ音響透過損失値が規定されている。
 - ・3帯域の間の帯域や、より低域を規定することなどが考えられる。JIS等の基準との整合性も大事である。
 - ・**岡野主査が提案内容、提案趣旨案を作成する。**
- ・応急仮設住宅の遮音について
 - ・面積（30 平米以下）の点から適用外だが、震災で長期利用が多くなっている。クレームも多い。長期の場合は音響性能も含めそれなりの性能を担保すべきである。隣戸間の問題の多くは音である。仮設でも最低限の性能は保証すべき。
 - ・**濱田委員が提案内容、提案趣旨案を作成する。**
- ・作成案に対して意見がなければ4日に提出予定である。

4. 各小委員会・WGの活動報告（2014年度活動計画）

① 固体音小委員会（稲留主査）

- ・10/11開催。文献のまとめについては体裁を整えてUP予定。次回は12/4（WGは12/26）に開催予定。
- ・次年度計画：ボール衝撃源によるデータ整理を行う。31.5Hz帯域でのばらつきなども検討する。数値解析による床衝撃音の現状把握を行うため、専門の委員に加わっていただく予定。

② 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会（岩本主査）

- ・11/13開催。道路交通騒音のスペクトルを確認した。集合住宅の生活音のまとめを行った。
- ・次年度計画：室内騒音レベルの設定、近隣からの発生音、外部騒音の設定。WHOとの整合性の検討など。

③ 建築音響測定法小委員会（杉江主査）

- ・11/8に開催。外周壁の遮音性能、PUセンサによる材料表面の吸音率測定について、手始めに文献調査から行っていく。室内の音圧レベル測定の代替として音響エネルギー密度測定を行い、モードの影響を軽減できないか検討する。
- ・次年度計画：上記の継続。インテンシティの検討。フランキング性能をとらえる。現場の遮音測定についても、適切な現場があれば検討したい。PUの校正方法、標準的な測定方法の検討など。

④ 室内音響小委員会（佐藤主査：欠席，メール報告）

- ・傘下のWGについては、4WGともに活発に議論が進んでいることを小委員会において確認している。
- ・室内音響小委員会については「快適性のみならず安全性に関わる室内音響処理（分野）をいかに社会に認知してもらえるか？」について議論している。

⑤ 音響数値解析小委員会（坂本主査）

- ・9/10 開催。境界条件としてのインピーダンスデータ整備を進めており、各研究機関によるラウンドロビンを行っている。9/11 に傘下の WG 主体でハンズオンセミナー（具体的な計算手法のチュートリアル）を開催し、充実した内容となった。
- ・次年度計画：今年度の継続。境界条件としてのインピーダンス整備、チュートリアル等の啓蒙など。

⑥ 音環境規準検討小委員会（古賀主査）

- ・9/12、11/15 開催。AIJ 大会の OS の企画内容について議論。建物用途軸（集合住宅等）だけでなく技術軸（音声伝送等）も必要であり、フレームを議論している。
- ・次年度計画：グランドデザインの検討。「学校施設の音環境の保全規準・設計指針」の改訂についての議論。スピーチプライバシーについても AIJES を見据えて検討する。

⑦ 企画・広報WG（中澤主査）

- ・WG を 11/19 に開催。SWG の活動報告と活動計画の議論を行った。データベース「建音検索」について、10/15 に最終版を学会 HP に UP した。今後周知していく。住まい方マニュアル刊行小委を立ち上げ、刊行に向けて議論した。
- ・次年度計画：AIJES 以外での音環境書籍の中には時代にそぐわないものも多いことから、現状調査を行う。音環境分野の地位向上に向けての議論を活発化させる。

⑧ 集合住宅遮音性能規準刊行小委／集合住宅遮音性能指針刊行小委

- ・2 小委とも、外部査読結果報告書と ES 原稿を提出。外部査読者が複数必要との理由から認められなかった。合同小委を開催し、新たな査読者に査読をお願いすることとした。外部査読を行った後、速やかに対処する予定である。

5. 他学会・研究会の予定

- ・建築音響研究会：12/18 大分大、1/31 旭川、3 月上旬に浜松ないし静岡（未定）。
- ・騒音振動研究会：1/31 建音研と共催、2/28（金）那覇、3/20 東大生研。
- ・ASJ 大会：3/10-12、ASJ モデルの SS が開催される。

6. その他

(1) 「AIJES 集合住宅の遮音性能基準（案）」に関する意見書、および集合住宅の音環境 AIJES に関する要望書、について

- ・2 つの担当刊行小委が対応を議論し、整理する。これを規準検討小委員会と運営委員会で確認し、企画刊行運営委員会へ報告する。
- ・その他：個人情報の観点から、名簿の取り扱いには注意をお願いする。

7. 次回以降の予定

- ・2 月 21 日（金）17:00～

以上